

アベノミクス、求められるCSR経営！

CSR＝企業の社会的責任、日本はこのCSRが大きく問われる時代になりました。ホテルやデパートのレストランで立て続けに発覚した食材偽装問題。パーティや宴会などのキャンセルが相次いでいるようです。

こういう社会の到来は1994年、細川内閣での産業構造の転換からでした。サービス業が製造業を追い抜いたのです。サービス業とは物を作っていない産業です。したがって、買わされる立場の消費者が増えたことを意味します。細川政権の「生活者重視」がそれを物語っています。

消費者は素人で弱者。したがって、企業側のプロがコンプライアンス違反をすることを許しません。それが不買運動をひき起こしたり、宴会のキャンセルに至ったりします。結果、企業の破たんまで発展することとなります。1978年ピークを迎えたGMが最終的に倒産するのもリコール隠しなどが原因でした。日本でおきた雪印乳業の破たんも消費者無視の経営でした。

現在の日本は全体の70%がサービス業従事者です。そして、消費者は8つの権利を主張しています。

CSR＝企業の社会的責任には安定的、発展的に資本の提供、サービス、商品の提供、雇用、納税などがあります。先月は納税していない企業の淘汰について述べました。今月はコンプライアンスです。

ここにソニーの下請け企業向けのコンプライアンス・ルールがあります。これを守らなければ取引停止となり、ソニーは1300社との取引を停止、同様にパナソニックは7000社、NECは40%の企業との取引を中止しました。

コンプライアンス・リスクマネジメントを実践しましょう。最近、リスクマネジメントの問い合わせが増えていきます。経営の精度を上げる経営です。

ソニーサプライヤー行動規範(項目) 2005年6月制定

基本原則

- ・法令遵守
- ・労働

- 雇用の自主性
- 児童労働の禁止
- 差別の撤廃
- 非人道的な扱いの禁止
- 最低賃金の確保
- 労働時間の法令遵守
- 結社の自由の尊重

・安全衛生

- 機械装置の安全対策
- 衛生管理
- 安全管理
- 緊急災害時対応
- 労働災害・職業的疾患管理
- 身体的な負荷のかかる作業への配慮
- 寮施設と食堂の衛生面確保

・環境保全

- 製品含有物質規制の遵守
- 化学物質と環境汚染物質の管理
- 排水と廃棄物の管理
- 大気汚染の防止
- 環境許可証の取得と適切な報告
- 汚染防止や省資源対策

・管理の仕組み

- 企業のコミットメント
- 経営の説明責任と責任
- 法律と顧客要求
- リスク評価とリスク管理
- 活動目標、実行計画、測定
- 教育、研修
- コミュニケーション
- 従業員フィードバックと参画
- 監査と評価
- 改善措置
- 文書化と記録

・倫理的経営

- 汚職、恐喝、横領の禁止
- 情報の公開
- 不適切な利益供与・受領
- 公正な事業、広告、競争
- 内部通報制度
- 地域貢献
- 知的財産権の保護

時流を読む

リスクに対する感性が高まれば、自ずと時代の「先」を読む力が備わってきます。最新ニュースをリスクマネジメントの視点で分析し、今後の展開や社会への影響を予想してみましょう。

食品虚偽表示 百貨店、管理体制に不備

大手百貨店で食材の虚偽表示が相次ぎ発覚している。問題表示の大半は百貨店に入居するレストランが手掛けており、百貨店側のテナント管理体制の不備が浮かび上がった。各社は再発防止策を打ち出したが、今後チェックを徹底できるかは不透明だ。

大丸松坂屋では、食品衛生スタッフの体制を強化する方針だ。高島屋はメニュー表示について自主基準を強化するほかレストランで使う食材は原材料までさかのぼって産地などの確認作業をする考え。売り上げ低落傾向の中、利益に直結しない法令順守の面に人員を重点配置するという経営の意思が必要になる。また、単に人員を増やすだけでなく「場所貸し業」と皮肉られてきた取引先任せの百貨店の意識を変えることも重要だ。

脱・知識偏重へ入試改革 国際人材を育成 学校現場 評価と懸念の声

教育再生実行会議が「達成度テスト(仮称)」の創設を柱とする大胆な大学入試改革案を提言した。国際社会で活躍するグローバル人材の育成が求められる中、知識偏重の入試から脱却し、意欲や適性も含めた多面的な人物評価で大学進学者を選抜するのが目的だ。

現行のセンター試験は年1回の実施で合否判定は1点刻みだが、達成度テストは高校在学中に複数回挑戦でき、結果は5～10の段階別で表示。科目数は削減され、英語能力テスト「TOEFL」など外部試験の活用も想定。文科省は早ければ5年後の導入を目指すとしている。

この提言には、教育関係者から評価の声が上がる一方、学校現場や生徒の負担増への懸念も出た。細かな知識偏重の入試を改めることには賛同が多いが、在学中に複数回実施されることで「受験中心の学校生活にならないか」との声もきかれた。

ノーベル賞受賞の生物学者、利根川進氏が「私の履歴書」最終日で次のように述べている。「日本の大学の入試制度は依然として画一的なままです。MITの場合、進学適性試験や高校での成績も考慮しますが、なにより小論文と個人面接を重視しています。面接官はMITを卒業して各界で活躍している人たちに依頼します。入学後、本当にMITに必要な学生だったかどうかを大学側が検証して、よい学生を選べなかった面接官は次回から交代させられます。MITではなるべくエネルギーがあって独創的な人材を探りたい。試験の点数が少し多いか少ないかは重要ではない。研究のような創造的な仕事をする場合、試験で高得点を取れる秀才が適しているとは限りません。独創的であろうとすれば、かえってマイナス要因かもしれません。ある仮説を立てた時にどれくらい難しいかを予想できてしまい、高い目標に挑戦する強い意欲を持てなくなるからです」

アジア銀、日本で競争 台湾大手、スター銀買収発表 外資のM&A 地銀も標的に

外銀による、初めての邦銀買収が発表された。台湾大手の中国信託商業銀行が、中堅地方銀行の東京スター銀行を520億円で買収する。この買収で、これまで投資ファンドが主体だった外資による邦銀買収は新たな局面を迎える。個人金融資産が豊富な国内市場で激しい競争にさらされてこなかった日本の地銀はアジア勢と比べ商品やサービスで優位に立っているとは言い難い。中国信託の時価総額は国内地銀を大きく上回っており、外資による他の地銀の買収がいつ起きてもおかしくない。国内に安住していた地域金融機関もグローバル化の波に打ち勝つ対抗策を迫られている。

本コーナーは、(株)日本アルマック/日本リスクマネジメント・プロフェッショナル協会共催セミナー「全国リスクマネジメント研究会」の内容を編集したもので、日経新聞の記事によるものです。セミナーの概要、参加申込方法等については、お気軽にお問い合わせください。

<発行>

日本リスクマネジメント・プロフェッショナル協会

〒101-0038

東京都千代田区神田美倉町10共同ビル2F 27号

(株)日本アルマック内

TEL:03-5297-1242 FAX:03-5297-1244

URL:http://www.almac.co.jp

<製作>

株式会社日本アルマック

〒101-0038

東京都千代田区神田美倉町10共同ビル2F 27号

TEL:03-5297-1241 FAX:03-5297-1244

URL:http://www.almac.co.jp

※ご意見・ご要望は上記までお寄せください。